

# 神戸KR学院 2022年度 自己点検及び評価

調査実施年月： 2023年(令和3年) 3月

評価者： 神戸KR学院 全職員

## 各項目の評価方法

(4段階)	4：達成されているので今後も継続して行う。 3：ほぼ達成されているが不十分な面を改善中である。 2：あまり達成されていないのでいっそうの努力が必要である。 1：達成されていないので根本的な取り組みが必要である。
-------	--

## 1 「教育の理念・目的」

		評価平均点
1-1	理念・目的・育成する人材像は明確となっているか	3.5
1-2	理念・目的・育成する人材像を実現するための具体的な計画を持っているか	3.8
1-3	時代の変化に対応し適宜見直されているか	3.7
1-4	全職員に周知され学外にも公表されているか	4.0
1-5	学校の特色（少人数、生活指導、進学指導、公的試験対策など）が活かされているか	4.0

### <現状・具体的な取り組み・課題>

少人数指導により、教員が学生一人一人を十分に把握できている。時代の変化に対応できるように、新しい情報は会議やオリエンテーションを行い、かつSNSなどを利用し、全員に周知している。

## 2 「学校運営・教員・教員組織」

		評価平均点
2-1	運営体制は日本語教育機関の告示基準を満たしているか	4.0
2-2	理念・目的に沿った運営方針は明確に定められ、職員に周知されているか	3.9
2-3	理念・目的に沿った事業計画は明確に定められ、職員に周知されているか	3.9
2-4	組織運営図やそれぞれの職務分掌と責任は明確になっているか	3.9
2-5	学校運営に必要な人材確保、育成が行われているか	3.3
2-6	人事考課制度、賃金制度、採用制度は整備されているか	3.7
2-7	意思決定システム（会議など）が整備されているか	3.8
2-8	教職員評価を行っているか	3.3
2-9	業務効率化を図るための情報システム化がなされているか	3.6
2-10	受け入れる学生の言語に対応できる組織となっているか	3.3

### <現状・具体的な取り組み・課題>

業務効率化のためのIT機器の積極的活用及び情報の共有化を図っている。

## 3 「教育内容・方法」

		評価平均点
3-1	教育理念に沿った教育課程は体系的に編成されているか	4.0
3-2	教員間（常勤・非常勤）で適切に協業しているか	3.8
3-3	成績評価・進級・修了の判定基準は明確になっているか	4.0
3-4	成績評価・進級・修了の判定基準は適切に運用されているか	4.0
3-5	学生による授業評価を実施しているか	3.0
3-6	教員の指導力（専門性、人間性、教授力など）の評価とそれを高める研修が行なわれているか	3.1
3-7	教育課程の改善のための取組は行われているか	4.0
3-8	日本語資格取得（JLPT, EJU等）のための指導体制は整っているか	4.0
3-9	カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか	4.0
3-10	学生の能力に応じた授業・指導を行っているか	3.9
3-11	日本語力の不足している学生に対し、適切な対応策（補習など）をとっているか	3.1

<現状・具体的な取り組み・課題>

学生のニーズや日本語能力に合わせたカリキュラムを組み、目標実現に向けた適材適所の講師人材配置を行っている。出席簿、成績評価、学生、学習の記録などを共有している。

4「教育成果」

		評価平均点
4-1	学生の日本語能力の向上は図られているか	4.0
4-2	学生の日本語能力の進捗状況を適切に把握しているか	4.0
4-3	学生の進路を適切に把握しているか	4.0
4-4	大学、大学院への進学率を高めているか	2.7

<現状・具体的な取り組み・課題>

外部試験の申込を学校で一括に行い、試験の結果も把握し、それをもとに出入国在留管理庁への報告も行っている。卒業後の進路及び在留資格の現状も把握している。

5「学生支援」

		評価平均点
5-1	学生に対する学習相談体制は整備され、相談室は有効に開設されているか	3.5
5-2	学生の進路に対する支援体制は整備されているか	3.7
5-3	学生の心身の健康管理・事故・けがなどを支援する体制があり有効に機能しているか	3.8
5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4.0
5-5	保護者（経費支弁者）と適切に連携しているか	3.5
5-6	卒業生を支援する体制が整備され有効に機能している	3.6
5-7	同窓会が組織され活発な活動をしているか	2.8
5-8	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	4.0
5-9	防災や緊急時における体制は整備され、また防災訓練は実施されているか	2.7

<現状・具体的な取り組み・課題>

健康診断を実施し、自転車で通学する学生が多いことから、自転車保険には全員加入している。SNSの活用により、各学生の学習及び生活相談には随時対応できるように努めている。

6「教育環境」

		評価平均点
6-1	学校の施設・設備は教育の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	3.7
6-2	学習効率を図るための環境整備はなされているか	3.7
6-3	教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されているか	3.8

<現状・具体的な取り組み・課題>

教室内環境は学生が学習に集中できるように配慮している。IT教育用機器の整備を進めている。検温器や消毒液を設置し、検温や手指の消毒などの徹底を継続している。

7「在留管理と生活指導」

		評価平均点
7-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	4.0
7-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	4.0
7-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	4.0
7-4	常に最新の学生情報（成績・進級・修了、日本語能力試験、日本留学試験など）を把握しているか	3.8
7-5	常に最新の学生情報（各月の出席状況、通学方法、アルバイトの状況など）を把握し、適切な対応策をとっているか	3.8
7-6	常に最新の学生状況（交友関係、教育相談など）を把握しているか	3.5

<現状・具体的な取り組み・課題>

定期的に情報発信やオリエンテーションを実施し、法務省の施策、入管法を周知している。アルバイト指導、長期休暇の注意、緊急事態の対応などを学生に周知し、留学生活が安心・安全なものになるよう指導している。

## 8 「学生の募集と受け入れ」

		評価平均点
8-1	入学者の受け入れ方針は定められているか	4.0
8-2	学生の募集活動は、適正に行われているか	4.0
8-3	学生募集活動において、教育成果（コース内容、大学進学率など）は正確に伝えられているか	3.7
8-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	4.0
8-5	適切な定員設定及び在籍者数になっているか	4.0
8-6	学納金は教育内容、学生及び保護者の負担感を考量し、妥当なものとなっているか	4.0
8-7	入学辞退者の授業料等の返納について明確に規定されているか	3.7

### <現状・具体的な取り組み・課題>

学生募集時、学生選考時には学校関係者が学生と面接及び母語で書面による説明を行い、教育内容、納付金などを説明し、納得の上で入学願書を提出してもらっている。経費支弁者とも面談し、支弁能力を確認している。

## 9 「財務」

		評価平均点
9-1	中長期的に財務基盤は安定していると言えるか	4.0
9-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なもので、計画に従って執行されているか	4.0
9-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
9-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.3

### <現状・具体的な取り組み・課題>

年度ごとの予算を組み、収支計画を立てている。使途不明金が発生しないように、会計監査を行っている。

## 10 「法令遵守」

		評価平均点
10-1	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営はなされているか	4.0
10-2	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守に関して、教職員・学生に対する啓発活動を実施しているか	4.0
10-3	個人情報の保護の取組は適切に行われているか	3.9
10-4	個人情報の保護に関して、教職員・学生に対して啓発活動を実施しているか	3.7
10-5	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努力しているか	4.0
10-6	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	4.0
10-7	自己点検・自己評価の結果を公開しているか	3.9

### <現状・具体的な取り組み・課題>

入管法を職員及び学生に周知するために、定期的に会議やオリエンテーションを実施している。関係省庁への報告も遅延なく行っている。

## 11 「地域貢献・社会貢献」

		評価平均点
11-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.0
11-2	学生のボランティア活動を奨励・支援し、また活動状況を把握しているか	3.0

### <現状・具体的な取り組み・課題>

学生のボランティア活動を奨励している。何人かの学生は区役所などで開催されるボランティア活動に参加した。定期的に地域で開催されるお祭りにも参加し地域貢献にも努めている。